



# ひまわり

発行日 令和8年7月1日

発行所 富士宮地区保護司会  
富士宮市弓沢町150 TEL.0544-22-1457

vol.46



## 目次

会長の言葉	富士宮地区保護司会 会長 小池 隆通	1
第75回“社会を明るくする運動”各支部の様子		2
作文コンテスト 入賞者一覧		3
富士宮地区優秀作品		
「球根が花開くと信じて」	北山小5年 深谷馨音	5
「あいさつは人を結ぶ」	芝川中3年 渡邊 結	6
富士宮地区保護司会 専門部会紹介・各部諸活動について		7
各種研修会の様子		9
「川越少年刑務所施設 参観研修のご報告」西支部 保護司 塩川裕康		10
令和7年度富士宮地区更生保護協会会員名簿		11
令和7年度 保護司・関係団体の受賞		15
退任保護司・新任保護司		15
富士宮地区保護司会役員名簿		15
富士宮地区保護司氏名		15
編集後記		15



富士宮地区保護司会  
会 長

### 小 池 隆 通



日頃より更生保護活動の推進にご理解とご尽力をいただいておりますことに、心より御礼申し上げます。

近年、全国的に初犯者数は減少している一方、再犯者はあまり少なくなっておらず、再犯防止の取り組みは一層重要性を増しております。

昨年6月1日の刑法改正により懲役刑・禁固刑がなくなり、拘禁刑に一本化されました。今までは懲罰を科すという、過去の犯罪に対する報い・懲らしめの意味合いが強いものでした。それを今回の改正により、受刑者の「改善更生」、すなわち「罪を犯すに至った要因となっている悪い点を改めるとともに、再び犯罪に及ぶことなく社会生活を送ることができるようになること」を図るためのものと明確に位置付けられました。それにより、出所後に再犯をしないよう、刑務所内でもそれぞれの実態に即した効果的な矯正処遇がなされるように変わりました。

また、国や県は再犯防止推進計画を策定し、市町毎でも順次策定する状況にあります。富士宮市においても今年度からの第5期地域福祉計画に包含されました。

昨年会長に任命され、6月に静岡県東部10地区の保護司会会長会議を当番幹事として開催し、また11月に夫婦都市近江八幡保護区保護司会の方々を富士宮にお迎えし交流研修をさせていただきました。その際に強く感じたことは、富士宮の保護司会は大変恵まれた環境にあるということです。それは富士宮市

という一つの市で保護司会が組織されており、他地区のように2市2町など複数の市町に亘っていることでの複雑さがないため、市福祉企画課と協力してスムーズに活動を進めることができるからです。

今年度は、“社会を明るくする運動”強調月間である7月18日（土）に、「市民のつどい」を総合福祉会館で開催いたします。

安藤記念ホールでのステージ、吹き抜けロビーにて静岡刑務所から刑務作品の展示販売、そしてパネル発表や更生保護マスコットキャラクター更生ペンギンのホゴちゃんとの記念撮影など、“社会を明るくする運動”を広く市民の方に知っていただく機会になるよう社明部や更生保護女性会が中心となって計画されております。

特に、安藤記念ホールでは、幼稚園児や中学生の演奏や、市女連の紙芝居、そして講演には、昨年の作文コンテストにおいて、小学校の部、県之最優秀賞を北山小の深谷馨音さんが受賞されたご縁で、岡崎医療刑務所の管理栄養士・黒柳桂子さんが来てくださいます。深谷さんの作文は、黒柳さんのノンフィクション作品『めざせ!ムシヨラン三ツ星』（NHKでドラマ化され、5月・6月に全国放送）に触れて書かれました。著者黒柳さんから深谷さん宛にご連絡があり、今回講演していただけることになりました。

盛りだくさんな内容になっておりますので、是非「市民のつどい」にお越しく下さい。

罪を犯した人が再び社会の一員として立ち直るためには、地域に根ざした温かい支援と見守りが不可欠です。私たちは改めて原点に立ち返り、「更生を信じ、地域で支える」という使命を共有し、関係機関・団体との連携を一層強化し、互いに支え合いながら活動を続けていきたいと存じます。



第75回（令和7年度）  
“社会を明るくする運動” 作文コンテスト

## 入賞者一覧

優秀作品（◎は、県出品作品。）

### ◆ 小学生の部

一年	あいさつはまほうのことば	東 小	坪内明日葉
◎二年	ぼくのすきな学校	山宮小	久高 梨翔
◎三年	おばあちゃんはスーパーヒーロー	北山小	深谷 真采
四年	ささえ合う社会	大富士小	加々美心結
◎五年	球根が花開くと信じて	北山小	深谷 馨音
六年	気持ちよく生活するために	山宮小	赤池蒼一郎

### ◆ 中学生の部

◎一年	温かなつながりが未来を変える	一 中	遠藤 夕愛
◎二年	旅は道連れ世は情け	富士根北中	瀧 有祥
◎三年	あいさつは人を結ぶ	芝川中	渡邊 結

## 佳 作

### ◆小学生の部（七十四作品）

やさしさのバトン	東 小 二年	澤田 花菜	あいさつのきほん	黒田小 六年	鶴田 朔久
つながること変わる世界	東 小 五年	梁瀬 由宇	あいさつでパワーまんたん	大宮小 一年	吉村江里菜
わたしにできること	黒田小 四年	佐野 萌依	わたしのしょうらいのゆめ	大宮小 二年	渡辺 美月
社会を明るくするために	黒田小 五年	深澤 寿内	みんなのためは、自分のため	大宮小 三年	北村 青

たすけ合いで明るい社会へ	大宮小	四年	山本 直	マジック	上井出小	五年	渡邊 杏花
送る言葉、返す言葉	大宮小	五年	佐藤 雅紀	自分も成長	上井出小	六年	鈴木 琉花
よりよい社会へ	大宮小	六年	古屋ななみ	ぼくにできること	人穴小	二年	野中 翔太
大切なあいさつ	貴船小	三年	佐野 心輝	できることから少しずつ	人穴小	四年	岡本 依真
世界を明るくするためにできること	貴船小	四年	佐野 柊月	犯罪や非行をなくす方法	人穴小	六年	山本 大輝
帰り道	貴船小	五年	小長井光里	みんなが助け合う社会	井之頭小	四年	岡村 美空
地域の人々の取り組み	貴船小	六年	富岡 翼	みんなを笑顔に	井之頭小	五年	池田 陽春
つながりを大切に	富丘小	六年	森 小桜	あいさつをしよう	井之頭小	六年	渡邊 葉月
みんながたのしくなるために	西 小	一年	渋谷菜々美	ともだちとなかよし	白糸小	一年	高橋 涼野
がっこうのへいわ	西 小	二年	稲葉 稀々	お兄ちゃん	白糸小	二年	田村 真奈
おうえんする気持ち	西 小	三年	井出 空暖	白糸地くのためにできること	白糸小	三年	長野 心良
社会を今より明るくするために	西 小	四年	山崎 淳矢	もっと楽しくするために	白糸小	四年	小池 太一
人と人のあたたかいあいさつ	西 小	五年	佐藤 菜春	元気の力	白糸小	五年	福地 七虹
平和な世界が一日でも早く	西 小	六年	佐野 万澄	優しさのバトン	白糸小	六年	赤池 里梨
てんじブロックをみつけたよ	大富士小	一年	矢畑 帆香	あいさつの大切さ	上野小	四年	鎌田 絃世
あいさつの力	大富士小	二年	相田 那月	みんなの心	上野小	五年	是川 恭子
みんなのえ顔づくり	大富士小	三年	市川 佳歩	わたしたちのしあわせ	富士見小	三年	鈴木 咲希
一人一人の心が変える未来	大富士小	五年	主田 世奈	社会を明るくするために	富士見小	四年	松井 実嗣
話=心	大富士小	六年	加々美結菜	まずは富士見小から	富士見小	五年	深澤 なな
ゴミはゴミばこへ	富士根南小	二年	望月 喜斗	元気をくれる友達	富士見小	六年	佐野 愛琉
一歩ふみ出して気づいた気持ち	富士根南小	三年	平川 まな	キケンな人がいなくなるまでは	芝富小	四年	深澤 楓
すてきな地いき社会にするために	富士根南小	四年	徳田 朱音	つながりと助け合い	芝富小	六年	保竹隼乃介
思いやりでつくる明るい社会	富士根南小	五年	塩川亜稀羽	えがおとあいさつであかるいしゃかいに	内房小	一年	滝川 杏菜
守ってくれる周りの人	富士根南小	六年	東内原遼真	あいさつで明るい地いきに	内房小	二年	遠藤 彩空
ポイ捨ての無くなる世界へ	北山小	六年	石川 奈々	子育てサロンの一日	内房小	五年	鈴木孝太郎
いやなときはわらわせよう	山宮小	一年	藤浪健太郎	交歓会で経験したこと	内房小	六年	遠藤 彩永
みんながきもちよくすごすために	山宮小	三年	赤池 夏葉	ありがとう	柚野小	一年	工藤 瑠翔
はんざい、つみの大きさ、重さ	山宮小	四年	小林芽衣那	へいわなせかい	柚野小	二年	鈴木 千陽
みんなでつなげる輪	山宮小	五年	近藤 和花	わたしの平和、みんなの平和	柚野小	三年	諏訪みちる
ちいきのひとたち	上井出小	一年	小柳きなり	明るい社会にするために	柚野小	四年	佐野 未奈
見えることばでしゃかいはあかるく	上井出小	二年	渡邊 要	明るい毎日をすごすために	柚野小	五年	鈴木 蓮袈
かんしゃの気持ち	上井出小	三年	佐野 心咲	社会を明るくとは	柚野小	六年	坂尻 渚
万引きをなくすためにぼくができること	上井出小	四年	遠藤優希人	平和なくらしとは	稲子小	五年	太田 稜大

## ◆中学生の部（三十二作品）

誰かを想う	一 中	二年	望月 瑠那	平和について	北山中	三年	星谷 颯大
つながる声がつくる未来	一 中	三年	久米エリカ	罪と償い	西富士中	一年	渡邊 心結
言葉づかい	二 中	一年	桑原 結佳	あいさつや思いやりで明るい社会に	西富士中	二年	宇部 朱里
まずは私から	二 中	二年	鈴木 優菜	暇じゃないから、迷わず走った	西富士中	三年	渡邊 稜己
言葉の重み	二 中	三年	長坂 南穂	平和な社会にするために	井之頭中	二年	吉川心優菜
立ち直りを支える心が社会を明るくする	三 中	二年	佐野 陸	地域の温かさ	上野中	一年	池戸 広行
みんなでつくる明るい社会	三 中	三年	塩川 夏希	見えない親切	上野中	二年	高木 由佳
信じることから始まる社会	四 中	一年	石橋 來幸	自分にできることから	上野中	三年	大塚 一牙
他人事じゃないこと	四 中	二年	佐野 希歩	多くの人々の笑顔のためにできる三つのこと	大富士中	一年	井出陽南乃
社会復帰への支援と共生の大切さ	四 中	三年	佐藤 蒼汰	人それぞれの価値観	大富士中	二年	鍋島 佐歩
地域のつながり	富士根南中	一年	鈴木 杜和	社会を明るくするために	大富士中	三年	高橋 煌雅
先に変わる方	富士根南中	二年	佐野 芽菜	やり直す勇気、支える気持ち	芝川中	一年	望月 心遥
支え合う社会へ	富士根南中	三年	朝倉 茉央	人の関わり	芝川中	二年	望月 倅
寄り添う心	富士根北中	三年	中野陽茉莉	みんなでなくそう闇バイト	柚野中	一年	諏訪ちはる
犯罪防止	北山中	一年	前嶋 陽人	みんなで一つの輪を	柚野中	二年	望月 雄貴
助け合いの必要性	北山中	二年	瀧 秋葉	言葉のチカラ	柚野中	三年	望月 心那

## 球根が花開くと信じて

富士宮市立北山小学校 五年

深谷馨音

「ムシヨラン？」

（何それ、ミシユランじゃないの？）私はそう思いながら、母が買った本をこっそり先に読んでしまった。読み進めていくと、『ムシヨラン』は著者が作った『ミシユラン』の造語で、例え受刑者が食べる物であっても、とびきり美味しい給食作りを目指す栄養士の実話だった。その栄養士が働く刑務所では、私が食べている学校給食にはないメニューの数々が提供されている。例えば、スラッピージョー。ミートソースより濃い味なため、パンに挟んで食べる肉料理らしいのだが、ひき肉は脂肪が多いため、炒め油ではなく、肉から出る油で炒めるレシピにしているそうだ。味だけではなく健康面も考えられていてすごい。他にも、こんにゃくをタピオカに見立てたドリンクや、手作りのカスタードクリームを添えたスイーツもある。どれも、読んでいてよだれが出そうだ。刑務所でこんなにおしゃれな給食が出るなんて夢にも思わなかったし、むしろうらやましいとも感じてしまった。でも、その反面（罪を犯した人が、こんなに美味しい給食を食べるなんていいのかな…。）とも思ってしまう自分がいた。なぜだろう。私はその理由を考えるようになっていた。

ちょうどその頃、子供新聞を読んでいて、ある記事を見つけた。それは、刑務所で受刑者を『さん』付けするようになったという内容だ。これまでの刑罰には『罪を犯した人をこらしめる』という意味があったそうだ。しかし、今年の六月から刑罰に関する法律が変わり、『再び罪を犯さないように立ち直るのを支援する』ことが重視されるようになったと書いてあった。受刑者を『さん』付けするのは、立ち直りを支援するための一つの方法だと考えた。

『罪を犯した受刑者に対して、厳しく接する方がいい。』と言う人や、『受刑者は呼び捨てでも構わない。』と考える人もいるらしい。でも、そうした毎日を過ごして刑務所を出ても、社会になじめず再び罪を犯して刑務所に戻る人も少なくないそうだ。この記事を読んだ時は、（果たしてどちらがいいのだろう…。）と正直思ってしまった。罪を犯したのだから厳しく接した方がいいという意見も、優しく包

み込まなければ再び社会には出ていけないという事実も、両方共に分かる気がするからだ。

そこで、私が読んだ本とこの新聞の記事をつなぎ合わせて考えてみることにした。二つ共に言える共通点がありそうだからだ。罪を犯して失敗した受刑者に対して、美味しい給食を提供したり、『さん』付けで呼んだりすることが本当に必要なのだろうか、と疑問に思う人は沢山いるのかもしれない。私もその一人だ。心の中で少しかだけ違和感を感じていたからだ。しかし、そうすることの意味があるのではないかと考え直すことにした。私は刑務所に入るような事はしたくないけれど、それでも失敗してしまうことはあるだろう。たった一度の失敗で、友達や先生から呼び捨てをされて、カピカピのまずいご飯を食べさせられたらどうだろう。（もう、どうにでもなれ！どうなってもいい！）と思ってしまうかもしれない。呼び捨てやまずいご飯に、『お前は一生悪い人間だ！』というメッセージが込められているような気がするからだ。しかし、

「馨音さん。」

と優しく呼ばれ、心が温まるような美味しい料理を食べることができたらどうだろう。（私を大切に思ってくれる人がいる。私を信じてくれている人がいる。）と、心エネルギーを貯めることができるのではないかと。そして、（私ならできる！）という思いで、前に進めるのではないかと。美味しい料理にも、『さん』付けにも、『あなたなら大丈夫！』というような受刑者への応援メッセージが隠れているのだと私は考えた。罪という失敗をしたとしても、またやり直せると信じて待つことが、その人の心の実りにつながるのだと考えることができた。土の中の球根が芽を出し、つぼみをつけ、きっと美しい花を咲かせるだろうと信じて、水をやったり肥料をまいたりすることと似ていると私は思う。

そして、それは刑務所に入るような大きな罪だけに言えることではなく、少しの小さな失敗にも通じることではないだろうか。もし、身近な家族や友達が間違いをしてしまっても、私はそれまでと同じように関わり続けたい。それが、『信じて待つ』ということだと思うからだ。私だって、失敗をして球根になることもあるだろう。そんな時は、いつも以上に水や肥料をもらいたいかもしれない。例え開花に失敗したとしても、いつ咲くのか、どんな色のどんな大きさの花が咲くのか分からなくても、きっとまた咲くだろうと信じて、水や肥料を与え合えるような、そんな社会になったらいいと私は願っている。

## あいさつは人を結ぶ

富士宮市立芝川中学校 三年

### 渡 邊 結

「おはよう。」

「ありがとう。」

私は、いつも大きな声で相手よりも先にあいさつをしようと心がけています。

それは、私の母の口癖からです。

「あいさつは、とても心地よいものだから、相手よりも先にあいさつをして、お互いに気持ちの良い一日を迎えよう。そして、誰であっても必ず感謝の気持ちを忘れずに、有難いと感じたら時間を置かずに思った時に言おう。そうしたらきっと人生はより良いものになるよ。「結」という名前は、人と人を結びながら様々な出会いの中で幸せを感じたり学んだりと人生をより良く生きて欲しいという願いが込められているんだよ。」

と話してくれます。それを聞いてから私はこの名前がますます好きになりました。

また、あいさつだけではなく、母の言ったように、

「いつもありがとうございます。」

と加えてあいさつをしています。

朝、玄関先で歩道をほうきで履いてくださっている校長先生や教頭先生、畑仕事をしたり、ゴミを出したりしている人や野菜をもらった近所の方に声をかけることも心がけています。なぜなら私は、あいさつはただの言葉ではなく、相手を元気にしたり、自分の心も明るくする力があると強く感じ、どんな時でも自分からあいさつをする人でありたいと思うからです。

そんな私が通う芝川中学校は、「小さな親切」運動静岡県本部の「あいさつ運動協力校」の一つです。私は生活安全委員長として、あいさつの呼びかけをしています。特別な活動ではありませんが、自分からあいさつをすることで、周りに少しずつ元気や穏やかな心地良さが広がるのを感じて

います。お互いに交わすたった一声のあいさつだけでも、学校全体の雰囲気ぐんと明るくなったと実感しています。あいさつで相手が笑顔になれば、自分も嬉しくなる瞬間があります。あいさつをしてくれた相手の微笑みや元気な笑顔を見て、私はさらに元気を貰えたように感じます。だから、あいさつの力は本当にすごいなと改めて感じます。

また、地域の活動にも参加できる時には、進んで参加しています。毎月十二日の寄り合い処「おいっちに」や、毎月第三土曜日の芝川子ども食堂「スマイルキッチン」でボランティアをしています。ボランティアも利用者も子どもから大人まで明るくあいさつを交わすことで、笑顔の輪がどんどん広がっていくのを感じます。その場にいると、自分も自然と笑顔になり、とても温かい気持ちになります。あいさつの小さな声かけ一つが、コミュニケーションを取りやすくするきっかけとなるので、自然と初めて会った人とも打ち解けることができ、地域全体が明るくなっているのを感じます。こうした経験を重ねることで、私はあいさつの大切さや笑顔の輪を広げていく楽しさをより深く学んだように感じます。

私は、毎日のあいさつが社会を明るくする運動そのものでないかと考えました。誰でもできる小さな行動ですが、だからこそその小さな行動が学校や地域、さらに社会全体に笑顔を生み出すと考えています。友達や家族、地域の人々との関わりの中で自分の一声が誰かの一日を少しでも明るく出来れば、それぞれが同じようにあいさつすることだけで、小さな積み重ねが未来の明るい社会につながると思っています。社会を明るくするというと、私個人ではどうすることも出来ない程の大きなことのように感じていましたが、あいさつが社会を明るくすると思うと私でも出来る事だと思える様になりました。こんな私に育ててくれたこの富士宮の芝川に感謝の気持ちでいっぱいです。この気持ちを大切にして、この思いを後輩につなげていきたいです。そして、生きている限りこの思いを大切に過ごしたいと思います。



## 富士宮地区保護司会 専門部会紹介・各部諸活動について



富士宮地区保護司会の会員は現在56名です。(令和8年7月1日現在)会員は地区ごとにそれぞれ東支部・西支部・富士根支部・北支部・芝川支部に所属して地域に密着した更生保護活動に携わっております。

また、保護司会の活動を遂行するため組織構成としては会長・副会長・庶務・会計の三役をはじめ、会員全員が4つの専門部会(総務部、研修部、社明部、広報部)を設け、保護司会運営を会員相互の協力のもと進めております。各専門部会の目的・活動内容など含め、各部長より日頃の部会の活動、抱負などをお話しいただきました。



部長  
馬飼野計子

今年度総務部長という大役を仰せつかりました馬飼野計子と申します。

保護司を拝命して今年で18年になります。

最初は研修部、総務部、社明部、そして令和7年度からは、また総務部にお世話になり部長の命を受けた時はちょっと尻込みしましたが、定年も近い私に出来る事は少しでもお手伝いをお願いする事に致しました。

総務部の仕事としては

1. 総会の開催に関する事
2. 会員相互の親睦活動に関する事
3. 関係機関との連絡及び調整に関する事
4. 他の部に属さない事項に関する事等

総務部長の引継書に書かれておりました。

それを見た時、大変な役を引き受けてしまったと後悔致しました。

会社勤めをしている時と違い、保護司になり様々な業種の方や経験豊富な方々と知り合う事が出来、自分の知らない世界を見聞し、大勢の友を作る事が出来ました。

総務部の仕事の中に会員相互の親睦活動とありますが、総務部に籍を置かせて頂き、新年互礼会、叙勲表彰を受けた先生方の祝賀会等様々な行事をお手伝いし、大勢の先生方と対象者の事や、報告書の書き方、人間関係の事など話す事が出来、私の18年間の保護司活動を支えてくれました。

総務部として令和7年9月16日～17日の川越少年刑務所への研修旅行も24人の参加を得て終了することが出来ました。令和8年1月17日の新年互礼会もコロナ禍以来やっと食事処で開催出来、また今回初めて夜でしたが32名の参加で親睦を深める事ができました。

『ボランティアは楽しまなくっちゃ!』

ですよね!



部長  
中澤 中

～「市民のつどい」への道半ば～

保護司のS先生逝去の悲報に沈んでいたある日、先輩保護司から「社明(社会を明るくする運動)部長に」と要請を受けました。実は運動自体に疑問を抱いていた私は固辞しましたが、亡きS先生の面影が脳裏をかすめ、引き受けることにしました。

運動は昭和26年に始まり、保護司の三本柱である「犯罪予防活動」と初めて知り「とんでもない大役を引き受けてしまった」と途方に暮れましたが後の祭り。1年目は横断幕の設置や従来行事の継続で精一杯でしたが、2年目に三役から「矯正展」の企画が持ち込まれ検討を重ねるうち、作文発表などを同時に行う「市民のつどい」案へと発展していきました。そんな中、事務局から県最優秀賞に輝いた深谷さんの作文に登場する、黒柳さんの情報が入り「こんな方が関わってくれたらいいな」と思っていたところ、なんと深谷さんのお父様とのお縁で、黒柳さんの「市民のつどい」への参加が実現することとなったのです。さらに、第76回目にして初めて「『保護司』をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう」という統一テーマが設定されました。

これまで私は保護司の立場を伏せるのが務めだと思ってきました。しかし、これからは「隠す」のではなく「正しく知ってもらう」ことが必要なのだという意識に変わりました。今回の企画にマルシェやフェスタのような明るく賑やかなイメージが湧いています。

企画には社明部員の皆様、当日ご出席くださる市民の皆様、保護司会、更生保護女性会、市職員、静岡刑務所の皆様など多くの協力が欠かせません。どうぞよろしくお願いたします。まずは「市民のつどい」が、皆様の笑顔があふれる楽しい場として幕を閉じますように。そして私の中での「社明運動とは何か」の答えを、見つけていければと思います。



部長  
望月辰夫

### 1, 地域別定例研修

◎保護司一人ひとりの『資質向上』と職務向上をはかること、犯罪・非行の現状や再犯防止施策等最新の知識・制度を共有し事例検討や意見交換を通じて、対象者や地域のための支援を高めること。

①富士宮保護司会組織として、研修には次の様な狙い、目的があります。

- ・保護司同士の情報交換と連携を円滑にする。
- ・地区内での活動水準を統一し、誰が保護観察を担当しても一定の支援ができるようにする。
- ・新任保護司の育成やフォローを通じて、組織全体の力を底上げする。

②実務面の目的として次の様な狙い・目的があります。

- ・保護観察や面接の進め方など、具体的な対応力の向上。
- ・精神保健・依存症・若者支援など課題への理解を深める。
- ・地域の関係機関との連携の取り方を学び、再犯防止に繋げる。

### 2, 施設参観研修

・罪を犯した人が入る、刑務所、少年院はどんな施設であるのかの様な生活を送って更生への道を歩んでいるか、また、どの様な罪を犯したのか等、刑務官の説明と、施設内を目で見た内容を通じて現状の把握と、保護観察実務に活かせるかを学びとする。

### 3, 富士宮・富士地区保護司会合同研修

・近隣の富士地区保護司会と合同で研修する事で、保護司同士の連携、情報交換などで絆を深め地域連携・連帯し、保護司の資質向上に努め対象者の再犯防止、地域支援を高める。

### 1, 地域別定例研修

・地域別定例研修は保護観察所主催で年3回の研修会を開催

- ・第Ⅰ期 令和8年6月29日 市役所7階710会議室  
研修演題 「更生保護」
- ・第Ⅱ期 令和8年9月29日 市役所7階710会議室  
研修演題 「就労支援」
- ・第Ⅲ期 令和8年12月予定 市役所7階710会議室  
研修演題 「改正保護司法」

### 2, 施設参観研修

・毎年9月or10月に実施、一昨年千葉県「市原少年矯正センター」昨年度埼玉県「川越少年刑務所」を参観研修実施致しました。  
・今年度10月予定参観研修候補施設「長野刑務所」「松本少年刑務所」「岡崎医療刑務所」を検討しております。

### 3, 富士宮・富士地区保護司会合同研修

・平成3年から継続して実施している研修会で、歴史ある研修会です。  
・開催担当地区は、一年毎に富士宮と富士地区保護司会が交互に担当して開催しております。昨年度は、富士宮地区保護司会担当で、フォレストヒルズにて、保護観察所の、大倉雄平統括監察官を講師に招き『生かされて、生きている』を演題に実施しました。

各種研修を通して、「同じ志を持つ仲間」としての絆を深め、保護司活動のモチベーションを高めてもらいたい。その為に多くの保護司の皆様に出席をお願いしたいと思います。

また、地域社会との連携支援、更生への理解を広めるようにして頂き、個々の資質を高められる研修になれば幸いです。今後も、研修部の皆様はじめ、保護司の方々にご協力をお願い致します。



部長  
寺尾是堯

～保護司会・広報活動 役割とは～

令和7年度より広報部長の役目を仰せつかりました寺尾是堯と申します。この一年間広報部の皆様、諸先輩の皆様のご指導を賜り、有難く現在に至っております。

広報部の役割は「更生保護活動、犯罪予防活動の啓発宣伝に関する事」になります。保護司相互の情報交換・情報の共有と併せて地域関係諸団体、地域住民の皆様へ保護司、保護司会の活動をお伝えする事が大切な役割と感じております。現在保護司の三つの役割（三本柱）として、

① 対象者との定期的な面接（立ち直り支援と再犯防止）

② 矯正施設出所後の受入れ先の環境調整（生活再建の支援）

③ 地域での啓発・犯罪予防活動への参加（安全安心な地域づくり）

が掲げられております。具体的には更生中の人と定期的な会って生活状況などを聞き、住居・仕事など生活全般と一緒に考え助言などを行います。そして「社会を明るくする運動」等を通して地域での啓発活動を併せて行っております。

昨今、時代の変化と共に日本社会の構造やひとりひとりの個人の価値観も大きく変化している現実があります。犯罪を犯した方の更生支援・社会復帰の実現、そして安全安心な地域社会を維持、形成していくにはより一層多くの課題を乗り越えていくことが必要とされると感じます。

このような時代変化にあるなか、富士宮地区保護司会諸先輩から続く思い、活動を受け継ぎ、地域社会・地域住民の皆様のご理解、ご協力のもと保護司としての活動に励みたく思います。保護司会広報部として「広報誌ひまわり」編集発行を中心に、広報部の皆さまと広報活動に取り組んでまいりたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 近江八幡保護地区との交流研修会

【令和7年11月26日】



近江八幡保護区 中江義一前会長あいさつ



富士宮市役所正面玄関前

## 富士宮・富士地区合同研修会

【令和8年2月6日】



富士宮地区 望月辰夫研修部長あいさつ



沼津保護観察所 大倉雄平統括官 講演：生かされて生きている



富士地区 半田清己会長 挨拶

# 川越少年刑務所施設 参観研修のご報告

西支部（三中学区） 保護司 塩川裕康

今回、富士宮地区保護司会の「令和7年川越少年刑務所施設参観研修」(9/16)に参加させていただきましたのでご報告致します。

川越少年刑務所は、明治4年に入間県川越町喜多町に川越囚獄として発足し、その後数度の移転・名称変更を経て、昭和44年より現在地に新築移転し、現在は26歳未満の比較的犯罪傾向の進んでいない男子受刑者を収容している刑務所です。

全国6か所の少年刑務所のひとつで、その中でも日本最大とのことでした。

研修は研修室にて調査官の田中様より施設や内容の説明、ビデオによる説明があり、その後現場視察となりました。

施設の外観はきれいに見えますが、内部は築年数なりの古さも感じられます。印象としては古い学校の校舎に似ています。

受刑者は原則として午前・午後に分けて作業を行い、規律的な生活を送っています。

ここの特徴である「ユニット型処遇」においては、片方のグループが午前中に作業、午後に改善指導を行い、もう片方のグループはその逆にする等、時間配分も工夫しています。また刑務作業自体も①基礎的作業(清掃・自営作業)②機能別作業(コミュニケーション力や我慢強さ向上)③職業訓

練と目的別の整理がなされています。

現在は動機付け面接も積極的に導入し、内面的な気づきや意思変容を促す取り組みもしています。また総合職業訓練施設として、CADや農園作業など多彩な職業訓練を実施しており、実際の作業現場も見せていただきました。そのほか義務教育を十分に受けていなかったり、高校中退者が多いため、補習教科指導・特別教科指導も実施しています。少年刑務所らしい取り組みと言えますが、残念ながら敬遠する者も一定数いるとの話でした。前出の「ユニット型処遇」は川越刑務所の大きな特徴です。少年院の矯正教育ノウハウを取り入れたもので、全国から集められた若年者が中心で、この処遇の実施は全国で当所のみとの話です。作業と改善指導を半日ずつ行い、個別担任が各々について指導、教育、悩みなどに対応しています。

その他視察で印象的だったのは、理容職業訓練を行う理容室があり、一般の人も安価で利用できるとのこと。また、自動車整備工場もあり、洗車や車検が外部の人も利用可能という話には驚かされました。

全体的な感想としまして、先進的な教育処遇を実施し、社会生活に適合する能力の育成に努めている、令和にふさわしい刑務所だと感じました。以上ご報告致します。





# 令和7年度 富士宮地区更生保護協会会員名簿



(敬称略・順不同)

(あいうえお順)

青木 安立寺	馬見塚 石川俊秋	大宮町 簗木ノ内履物店
// 妙善寺	// 篠原 寛	// 大宮美粧院
// 富丘こども園	// 望月英敏	// 加藤米穀(株)
// 清 紀雄	// (有)石川電気工業所	// (簗)一球堂
// 佐野好美	石川隆行	// (株)鍛冶熊
// 桐部 光	// 石川清次	// 浅間区 (井口)
// 佐野正泰	大岩 大岩3区	// (株)柘彌
// 佐野文紀	// 佐野紙業	上井出 (株)富士ミルク 伊藤忠永
// 惟村泰久	// 重林寺	// (株)遠藤自動車
阿幸地町 (株)第一	// なかがわ眼科	遠藤洋晃
阿幸地 富士宮労務協会	// (株)伊藤製作所	// (宗) 光立寺
安居山 安居山1区	// (株)太孝クレーン	// 茂 孝志
// 安居山2区	// 時田千代子	// (有)篠原電気 篠原義大
朝日町 (株)佐野農園	// 林 孝行	// (株)アスティー 井出裕一郎
栗倉 小林導治	// 渡邊博美	// 和乃泉 寺尾和勲
// 望月近美	// 土屋美恵子	// 風の湯
// 舟久保区	// 渡井瀧男	// 富士ミルクランド
// 栗倉3区	// 三栄電業社	上稲子 上稲子区
// (有)小林造園	// 佐野 進	// 佐野貴久雄
栗倉南町 栗倉南区	// (株)タケウチ	// 佐野一芳
猪之頭 高野ふみ江	// サイクルショップ	// 平七 佐野宏美
// 猪之頭区区長 赤池一男	カタダ	上 条 (宗) 日蓮正宗 大石寺
// 猪之頭区元区長	大久保 櫻田医院	// 清観光 (株)
植松政臣	// 小泉吉巳	// 佐野藤建設(株)
// 植松誠市	// 小林益夫	代表取締役 佐野哲也
// 佐野ます彥	// 佐野 基	// 加茂光也
// (株)赤池商事	// 清 春雄	// (有)杉浦石材店
代表取締役 赤池文博	// 堀水芳信	// 志村正信
// (有)富士建材土木	大鹿窪 特別養護老人ホーム	// 佐野眞幸
代表取締役 植松秀行	百恵の郷	// 藁科 正
// (有)依田造園	// 三澤寺	// 斎藤和文
代表取締役 依田 強	// 山本石材店	// 土橋一美
内 野 朝霧ハイランド	// 明光台区	// 望月 慧
馬飼野牧場	// 柚野上野地区寒行	// 岩切武夫
// 志村 亮	// 大鹿窪区	// 鈴木駒三
// 白糸自動車整備工場	大中里 富士フィルム(株)	// 鈴丸紙業(有)
土橋 大介	富士宮事業場	// 佐野賢一
内 房 望月機工	// 宗教法人 先照寺	// 望月 勝
// 芝川苑	// 田口みよ子	// 藁科秀樹
// 祥禅寺	// 後藤美恵子	上柚野 シャクリー工業日本(株)
// 丸大製材所	// 稲葉人可	// 富士錦酒造(株)
// 望月哲也	// 龍急便	// 永紘商事(株)
// 望月清美	大宮町 (株)ウイズアイ・エージェント	// 上柚野区
// 望月保子	早藤尚哉	狩 宿 井出光彦

神田川町 芦澤盛二	小 泉 小泉歯科医院	下 条 西川商店
// 神田川区 (深瀬)	// 富士設計(株)	// 稲葉獣医科医院
北 町 小山 孝	// 渡井照彦	// (株)西原石材工業
北 山 北山医院 高橋敏信	// しみず行政書士事務所	// 柏木広正
// (株)あさぎり高原食品	// 後藤芳弘	// 田辺 久
// エーユー生コン(株)	// (株)エヌ・ケー	// (株)サンフラワー
// (株)いでぼく	// (有)富士ハンブ	代表取締役 渡辺 靖
// 朝日設計	// 佐野英夫	// 永田浩章
// 割田孝允	// 佐藤光孝	// 斉藤 学
// 朝日芳雄	// 神山照夫	下柚野 東洋カプセル(株)
// 大一セラム(株)	// 関矢幹生	芝川工場
// 三浦博志	// 加藤 衛	// 下柚野区
// 前嶋妙子	// 赤池和江	精進川 上野製菓(株)
// 小松快造	// (株)富士総合設備	// (株)藁科組
// 前島勇吉	// 市川すえ子	// 功刀養鱒場 功刀芳康
// 赤池和人	// 芦川幹弘	// 佐藤宣仁
// 小野薬品工業(株)	// 遠藤文子	// 中西 寛
フジヤマ工場	// 芦川容子	// 渡井浩昭
貴船町 貴船区	佐 折 休暇村 富士	// 諏訪部文男
黒 田 加藤富士絵	下稲子 後藤碎石販売(株)	// 望月由美子
// 中野和典	本社事務所	// 渡井將文
// 中野恭子	// 拓進建設(株)	// 佐野庄平
源道寺町 源道寺区	// 下稲子区	// 池田勝俊
// UTB ゴルフ スタジオ	// 真光寺	// 渡井幸男
安尾佳太	下 条 (株)川俣組	城北町 城山区 (内藤)
// 富士宮自動車学校	代表取締役 佐野 孝	// 富士信用金庫
小 泉 (有)クロンボ看板工芸	// ライズさいとう	富士宮支店
秋鹿 衛	// 土井ファーム 土井一彦	// 小室忠雄
// 久遠寺	// スーパーぎんこう	杉 田 杉田区長会
// 妙円寺	// 池田クリニック	// 櫻井紀満
// 代立寺	池田祐司	// 稲葉光泰
// 佐野医院	// 富士森林組合	// 杉浦正博
// 東京製紙(株)	// 牧野酒造(資)	// 丸元産業(株)
// 小泉1区	代表 牧野利一	// 渡辺 靖
// 小泉2区	// 民宿 中京	// 富士宮富士山製茶 (合)
// 小泉3区	// (有)山下水道工務店	宝 町 本光寺 斉藤尚美
// 小泉4区	// 吉野友勝	// (有)クボタ塗料
// 小泉5区	// 佐野志農夫	// (株)叶屋
// 小泉6区	// 山本年乗	// 宮本区 (遠藤)
// 三和電気工事(株)	// 久保田浩一	田中町 食事処 阿部
// 直至院	// 佐野 満	// (株)オブリック
// (株)森下建設	// 赤池公孝	// 鈴木化成品(株)
// (株)日誠電工 日原 誠	// 佐野寿夫	中央町 (株)藤原
// 上小泉区	// 石川 正	// (株)増田屋本店
// 鈴木産業(株)	// 佐野壽彦	外 神 (有)コロンブストラベル
// 阿南胃腸内科外科	// 佐野 茂	// 福田禮子
// (株)鈴木新聞店	// 和出石油	// 松本 平
// (株)小野田総合設備	// 上野工業所	外神東町 JA富士伊豆
// (株)鈴木組	// 佐野次郎商店	富士宮地区本部

外神東町 外神東区  
 // (株)佐野金型製作所  
 鳥 並 鳥並区  
 中里東町 森永乳業(株)  
 // 富士工場  
 // 東洋カプセル(株)  
 // 清 美千代  
 中島町 佐野八十八造園(株)  
 // 富士宮製缶(株) 稲葉洋通  
 // 吉岡希恵  
 長 貫 静甲工業(株)  
 // (株)リサイクル芝川  
 // (株)イトウミート  
 // (株)由井商会  
 中原町 (株)佐野電気研究所  
 // (株)富士山  
 // 山崎通男  
 // やまざき動物病院  
 錦 町 富士宮補聴器センター  
 // 吉野貸ふとん店  
 西小泉町 東静岡神経センター  
 // (株)和泉屋建材店  
 西 町 神立区  
 // 松山区  
 // (株)丸正佐野自動車商会  
 // 松本整形外科医院  
 // 日本グラニューレーター(株)  
 // 西ヶ丘幼稚園  
 // (有)食堂 菊屋  
 // (有)十字屋  
 // スミヤ(株)  
 // おぎ洋品店  
 // 錠まえ師 m&m's  
 西 山 大詮坊  
 // (株)関東精工  
 // (株)日健メディカル  
 // 清 厚博  
 // 清 由美子  
 // 清 義治  
 // 原田美子  
 // 深澤 勲  
 貫 戸 (有)桂井紙粘土研究所  
 // 笹鈴木製茶  
 沼久保 沼久保区  
 猫 沢 猫沢区  
 根 原 富士丘区区長 松下克己  
 // 根原区区長 吉川茂樹  
 野 中 東部電工(株) 佐野富治  
 // 岳南朝日新聞社

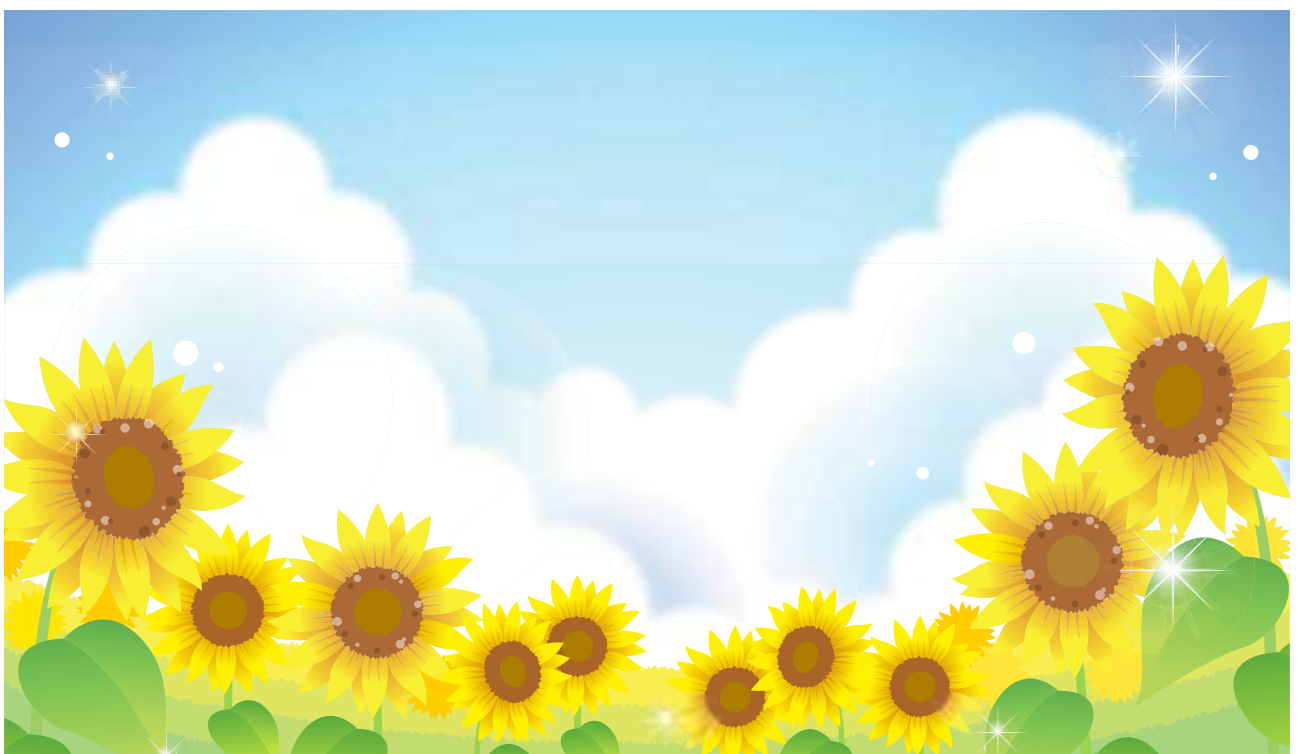
野 中 割烹 たちばな  
 野中東町 清水銀行野中支店  
 羽 鮒 認定こども園  
 // 芝川リズム  
 // 臼井 史  
 // 王子エフテックス(株)  
 // (株)村野  
 // 柴田充規  
 // 野村好子  
 // 小野田仁  
 // 野村陽子  
 // グッドハウスマツナガ  
 // 松永浩実  
 // 吉祥寺  
 // 佐藤ふじ子  
 // 渡辺公孝  
 // 野村晏弘  
 // 後藤良行  
 原 (有)ひより  
 // 代表取締役 渡辺一敏  
 // 白糸区長会  
 // (原区・半野区・内野  
 // 区・狩宿区)  
 // フジヤマ病院  
 // (有)渡辺建設  
 // 代表取締役 渡辺定賢  
 // 馬飼野行雄  
 // 本源寺 本間光信  
 // 小池 猛  
 // 原宮農作業受委託組合  
 // 代表 村松正章  
 // ふじ造園 遠藤孝幸  
 // 佐藤俊治  
 // 白糸滝養鱒場 秋山徳浩  
 // 渡辺道夫  
 半 野 渡辺森正  
 // (株)渡辺商事  
 // 代表取締役 渡邊幸伸  
 // 高野 喬  
 // (株)上沢建設  
 // 代表取締役 上沢信廣  
 // (有)高野水道工務店  
 // 代表取締役 高野栄治  
 // 佐野旦年  
 // 白糸鉄工 佐野昇平  
 // 渡辺 寛  
 // 遠藤淳子  
 光 町 二の宮区  
 // 北川安男

東 町 永松医院  
 // 大和区  
 // (株)岳南塗装デザイン  
 // 寝具の佐野  
 // 富士宮グリーンホテル  
 // アメリカヤ薬局  
 // インテリアマルチャー  
 // 杉山商店  
 // (株)マルタ  
 // 望月給食  
 // ウインディやよい  
 // 常泉寺  
 // 望月 勝  
 // 石川精肉店  
 // 常磐区 (渡辺)  
 人 穴 (有)高恵製作所 高野秀文  
 // 月岡商店 月岡幸人  
 // 人穴区 村松 明  
 // (有)市ノ瀬牧場 市瀬欽司  
 ひばりが丘 富嶽温泉 花の湯  
 // (株)ハヤカワエン  
 // 岡重(株) ガス部  
 富士見ヶ丘 旭日工業(株)  
 // 鈴木忠宏  
 舟久保町 (有)小林造園  
 麓 麓区区長 畠中秀生  
 星 山 大悟庵  
 // 深澤洋子  
 穂波町 石川勝三  
 舞々木町 共立運輸(株)  
 万野原新田 富士宮鉄工団地  
 // 協同組合  
 // アコレ(株)  
 // 万野1区  
 // 万野2区  
 // 万野3区  
 // 万野4区  
 // 万野希望区  
 // (株)加藤総建 加藤智久  
 // 大洋紙業(株) 渡辺和裕  
 // (株)はせがわ  
 // (有)笹原  
 // 赤池造園(株)  
 // 五味正之  
 // オトボディー福原(株)  
 // 望月辰夫  
 // 望月 斉  
 // 杉浦健一  
 // 九川治喜

三園平 フジ印刷(有)  
 // (株)モチエイ工業  
 // (株)ヨーゼン  
 // (株)日之出商会  
 // 村松孝之  
 // 山本幸一  
 // 三園製作所  
 // (株)平井紙業  
 宮 町 富士山本宮浅間大社  
 // マルキーズ洋菓子店  
 宮 原 宮原1区  
 // (有)四條商店  
 // 小林琅治  
 // 天野勝三  
 // (株)フジマクロ  
 // 矢部哲二  
 // 肉の桑原  
 // 遠藤土地  
 // 溝口義廣  
 // (株)山一富士宮工場  
 // 太田川一郎  
 // 鈴木 博  
 // 是村文男  
 // 渡辺光代  
 // 高橋繁元  
 // 太田精一  
 // 川島克己  
 村 山 篠原真一

村 山 村山3区  
 元城町 佐野歯科医院  
 山 宮 表富士工業団地  
 協同組合  
 // (株)リフレッシュトーカー  
 // 山宮1区  
 // 山宮2区  
 // (株)富士セラミックス  
 山 本 代信寺  
 // (株)雄陽工業  
 瀬戸充洋  
 // 佐やまさ園  
 // 若林土木  
 // 安倍雅史  
 // (有)ヤマイチ  
 // 三野製茶  
 // 倉土井製茶  
 // 吉野文郷  
 // 吉野寿昭  
 // 土井石油  
 // 森井 昇  
 // 石川豊久  
 // 日蓮宗 法典寺  
 豊 町 (有)二の宮石材  
 // 望月家策  
 弓沢町 (株)大石組  
 // マルモ食品工業  
 望月律子

弓沢町 (株)ニッピ富士工場  
 // 弁護士 加茂聡子  
 // 司法書士 加茂哲三  
 淀川町 牧野信治  
 // 神賀区  
 // 石川一廣  
 // 風能印刷所  
 // (株)アカツキ  
 // エイコーでんき  
 // (株)橘商事  
 淀 師 淀師区  
 // 佐野三男  
 // 輿水利男  
 // (株)うるおいてい  
 若の宮町 (有)マルジョー  
 モーターズ  
 // 清水銀行大宮支店  
 // 望月恵一  
 // 富士綜合開発観光(株)  
 伊藤一芳  
 // 木の花区(芦澤)  
 富士市厚原 (株)キュー電気  
 磯野 光



令和7年度  
第68回静岡県更生保護大会受賞者名簿

(敬称略)

◆法務大臣表彰

田口 りよ子

◆法務大臣表彰

加藤 忠彦

◆全国保護司連盟

理事長表彰

佐野 三男

◆関東地方更生保護

委員会委員長表彰

福田 昌之

◆関東地方更生保護

委員会委員長表彰

九川 治喜

◆静岡保護観察所長

表彰

芦川 幹弘

◆静岡県保護司会連合

会長表彰

犬浦 壽信

◆静岡県保護司会連合

会長表彰

風岡 茂

◆静岡県保護司会連合

会長表彰

植松 洋之



令和8年度  
富士宮地区保護司会役員名簿

理事	会長	小池 隆通
理事	副会長	白井 由紀子
理事	副会長	清 正明
理事	副会長	望月 辰夫
理事	庶務	渡辺 泰典
理事	会計	赤池 文博人
理事		望月 重人
理事	総務部長	馬飼野 計子
理事	社明部長	中 澤 中
	兼務 東支部長	
理事	研修部長	望月 近美
理事	広報部長	寺尾 是堯
理事	西支部長	輿水 和男
理事	富士根支部長	竹川 篤志明
理事	北支部長	朝日 雅明
理事	芝川支部長	犬浦 壽信
監事		加藤 忠彦
監事		林 敏子
顧問		佐野 三男

退任保護司

(令和8年7月1日現在)

鈴木久二重

渡邊 和憲

渡井 照彦

植松 洋之

新任保護司

(令和8年7月1日現在)

今野真由美

石川 明彦

北條 裕美

富士宮地区保護司氏名

令和8年7月1日現在 (56人)

東 支 部

一中校区  
加藤 忠彦  
深澤 信隆  
佐野 浩一  
鈴木 統雄  
吉野 寿昭  
橋本 浩  
加藤 富士絵  
遠藤 是文

二 中 校 区

早川 信義  
中澤 中  
渡辺 泰典  
大富士中校区  
望月 辰夫  
望月 齐  
九川 治喜  
杉浦 健一  
今野 真由美

西 支 部

三中校区  
佐野 道子  
清 正明  
風能 智美  
塩川 裕康  
佐野 富治  
北條 裕美  
四中校区  
田口 りよ子  
佐野 三男

福 田 昌 之

寺尾 是堯  
清 節子  
輿水 和男  
北 支 部  
北山中校区  
伊藤 光嗣  
朝日 雅明  
石川 明彦

上野中校区

望月 剛  
石川 明彦  
伊藤 直絵  
西富士・  
井之頭中校区  
馬飼野 計子  
茂 孝志  
寺尾 堯見  
赤池 文博  
志 村 一彦

富士根支部

富士根南中校区  
小池 隆通  
林 敏子  
竹川 篤志  
芦川 幹弘  
日原 誠  
横山 速人  
清 靖雄  
富士根北中校区  
小林 導治  
篠原 のり子  
望月 近美

芝川支部

芝川・袖野中校区  
佐野 恒夫  
本間 裕史  
望月 重人  
白井 由紀子  
遠藤 寿代  
風岡 茂信  
犬浦 壽信

編集後記

今や世界は激動と変革の只中にあるようです。人間社会もまた、多様化が進み、多宗教、多民族、多文化の複雑に混在する混沌の時代に突入しているといえましょう。その中で生きている人間は、思想や宗教も自己本位の解釈に陥り、我田引水の自分勝手な驕りや考え方を他人にも強要し、仲間を増やそうとしています。

世界の平和と戦争の撲滅は、人類の必須の願いでもあります。宗教も民族も、その源を迎れば、その人一人ひとりの人間の根源に由来しています。ひとりの人間が、人間として如何に生き、向上心を持って人間性を高め、無上道への歩みを進めることこそが、大切であると思います。

たとえば、仏教の教えでは、人間を含めた一切衆生には、仏に成れる種(仏性)が、生まれながらにして備えられていると説かれています。私達はその教えを疑うことなく信じ、まずは仏に成る種を自らが育み成長させ、向上心を持って学ぶ努力を積み重ね、多くの徳を他人にも施すことができたなら、仏様への恩返しとなることでしょう。

地球上の構成員は元々一人ひとりの人間です。仏性の種に目覚めた人間が、ひとりでも多く集い、他人を愛おしく思いやり、苦しみを共有し、少しでも楽を与えることができたなら、そこに小さな平和が実現されることでしょう。

更生保護の活動は、その人の人間らしさを呼び戻し、自覚を促す第一歩でもあり、全ての人への人間性の回帰と、向上心の発露を促す慈悲の道とも言えましょう。

ひまわり

第46号

発行日 令和8年7月1日

発行者 富士宮地区保護司会  
会長 小池隆通

編集 富士宮地区保護司会  
広報部  
富士宮市弓沢町150

表紙撮影者 山本武正氏

撮影場所：白糸自然公園